

# 室蘭工業大学-学報

NO.654



令和5年度学位記授与式を挙  
行  
(15ページに関連記事あり)

2024年 4月号

## 目 次

### ◇ トピックス ◇

第4回地域の公共交通リ・デザイン実現会議	1
第5回コラボ産学官会員大学による情報交換会で広報室が講演	2
太田香教授が令和5年度北海道科学技術奨励賞を受賞	3
MONOづくりみらい共創機構創立記念シンポジウムを開催	4
安藤哲也准教授が溶接技術奨励賞を受賞	5
STARTUP 2024 in 室蘭工業大学	6
アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点 第2回ワークショップを開催	8
理系国立大学について知ろう！室蘭工業大学説明会～山協学園中学高等学校で開催	9
内閣府事業「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第3期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に採択	10
公益財団法人岩谷直治記念財団設立50周年記念岩谷科学技術特別研究助成にチャン教授が採択	11
電子情報通信学会EST研究会優秀論文発表賞を本学学生が受賞	12
ロボットアリーナ2月体験教室の開催	13
名古屋大学液液デトネーションエンジン 宇宙実証用フライトモデルの最終燃焼試験を白老実験場で実施	14
令和5年度学位記授与式を挙行政	15
教員の業績評価システム（ESTA2023）における優秀教員表彰式を開催	16

### ◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	17
奨学寄附金の受入れ	18

### ◇ 人 事 ◇

人事異動	19
------	----

### ◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催	29
-------------	----

### ◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事	30
-----------	----

## トピックス

# 「第4回地域の公共交通リ・デザイン実現会議」 (国土交通省) で有村教授が講演

令和6年2月9日に国土交通省主催の「第4回地域の公共交通リ・デザイン実現会議」(議長:国土交通大臣)にて有村教授が本学の研究内容及び室蘭MaaS等の取り組みについて講演しました。

「地域の公共交通リ・デザイン実現会議」は国土交通

省が、関係省庁の連携の下、デジタルを活用しつつ、交通のリ・デザインと地域の社会的課題解決を一体的に推進するため、議長を国土交通大臣として「デジタル田園都市国家構想実現会議」の下に設置した会議です。

## 第5回コラボ産学官会員大学による 情報交換会で広報室が講演

令和6年2月19日に一般社団法人コラボ産学官主催の「第5回コラボ産学官会員大学による情報交換会」で本学広報室（宮下総務広報係長）が大学における広報および情報発信の仕方について講演しました。電気通信大学

広報センター長の坂本先生、近畿大学リエゾンセンターの武田コーディネーターの発表に続き、本学からは学生広報スタッフ「むろこーほー」を活用した広報に着目した講演をおこないました。

## 太田香教授が令和5年度北海道科学技術奨励賞を受賞

令和6年2月19日(月)に令和5年度の北海道科学技術賞・北海道科学技術奨励賞の受賞式が札幌市内で行われ、太田香教授が北海道科学技術奨励賞を受賞しました。

北海道科学技術奨励賞は、本道を主な拠点として本道の発展に寄与する科学技術上の優れた発明、研究等を行い、今後の活躍が期待される若手研究者に対し、知事表彰として贈呈されるものです。

### 【北海道科学技術奨励賞】

太田 香 (大学院工学研究科 教授)

「地域社会のデジタル化を拓く情報通信システムの研究」

### 受賞者コメント

このたびは奨励賞という名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。これまでご指導・ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます。北海道の地にある室蘭工業大学の一員としてこれまで研究してきた成果が北海道への地域貢献として認められたことを大変うれしく思います。また、2013年に室蘭工業大学に着任してから10年目の節目にこのような栄誉にあずかることが二重の喜びであります。この賞をいただいたことを励みに、今後も北海道地域のために貢献することができるよう精進してまいります。



左：太田教授 右：空閑学長

## MONOづくりみらい共創機構創立記念 シンポジウムを開催

令和6年2月19日(月)北海道立道民活動センター(か  
でる2・7)においてMONOづくりみらい共創機構創立  
記念シンポジウムを開催しました。

シンポジウムは空閑良壽学長・機構長の開会挨拶に始  
まり、西村訓弘教授(三重大学大学院地域イノベーション学  
研究科)による「北海道を「世界水準の価値創造空  
間」にするために」と題した記念講演が行われました。  
「未来に向けたMONOづくりみらい共創機構の役割と  
は」をテーマとしたフォーラムでは、松田瑞史理事・副  
学長がモデレーターを務め、6名のパネリストや会場の  
参加者を交えて、本学が掲げる「北海道MONOづくり  
ビジョン2060」実現のために創立された機構の役割や、  
今後の社会貢献活動の方向性などについて活発な議論と  
意見交換が行われました。最後に、船水尚行理事・副機  
構長の挨拶によりシンポジウムは盛況のうちに閉会しま  
した。

記念講演講師

西村 訓弘 教授

(三重大学大学院地域イノベーション学研究科)

パネリスト

稲川 貴大 氏

(インターステラテクノロジズ(株)代表取締役社長)

水口 伸生 氏(北海道総合政策部 次世代社会戦略監)

堀井 敬太 氏(伊達市長)

西村 訓弘 氏

(三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授)

東 博暢 氏

((株)日本総合研究所 プリンシパル/融合戦略グループ長)

山中 真也 氏(室蘭工業大学 教授)



西村 訓弘 教授



パネルディスカッションの様子

## 安藤哲也准教授が溶接技術奨励賞を受賞

溶接技術奨励賞は、1988年10月に創設され、溶接学会各支部において溶接・接合に関し、研究・開発・改良あるいはその実用化の功績顕著な者にその地域の支部長から贈られるものです。

### 【受賞者コメント】

本表彰は、これまで研究室に配属された学生や学外の皆様からのご協力によるところが甚大と考えています。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。今後も溶接協会の委員会活動などを通じて、社会への貢献、延いては環境にやさしい豊かな社会の実現に向け、研究活動や社会貢献に取り組んでいく所存です。



受賞した安藤哲也准教授

## STARTUP 2024 in 室蘭工業大学「室蘭から世界へ！」 学内ベンチャー育成塾 プレイベント を開催

令和6年2月28日(水)に大学会館多目的ホールでSTARTUP 2024 in 室蘭工業大学「室蘭から世界へ！」学内ベンチャー育成塾 プレイベント を開催しました。STARTUPや起業に興味を持ち、令和6年度の活動に参加する意思を持った本学学生14名が参加しました。

はじめにパナソニックITS株式会社代表取締役田辺孝由樹氏(本学客員教授)から開会挨拶があり、その後講師の紹介と、令和5年度STARTUP活動の成果報告として、外部コンテストで入賞した3件の発表を行いました。(学生発表)

ドローン取得情報を用いた除雪効率の向上(渡邊陸、小笠原悠人)

革新的月輸送システムの開発(宮下陽光、木村魁人)

ミルクメイト(高宮立、小樽商科大学)

次に、エレベート株式会社代表取締役/マサチューセッツ州立大学Lowell校MBA講師大前和徳氏から、グループワークと各グループの発表を交えたMBA講義があり、続いて、株式会社御用聞き代表取締役古市盛久氏から、新規事業の実践例御用聞きと題して社会課題解決をテーマにしたご自身の起業経験を基にした内容のご講

演を戴きました。最後に、パナソニックITS株式会社代表取締役(本学客員教授)田辺孝由樹氏から、新規事業の実践例夢プロジェクトについて、最新版にアップデートした事業状況について熱意溢れる内容のご講演をいただきました。

講義終了後には、場所をカフェ TENTOに移し、学生と講師の交流会を行い、振り返りとメンタリングを行いました。講師と受講学生双方から、このメンタリングの時間が有益だったとの感想を戴きました。

本イベントは、科学技術振興機構(JST)スタートアップ・エコシステム形成支援(START)事業の支援を受けて、実施したものです。本学は、北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(Hokkaido Startup Future Creation development by mutual support networks / HSFC “叡智の力、エイチフォース”)の一員として、北海道の産業構造の変革と豊かで住みやすい北海道の実現のため、組織的なスタートアップ支援を推進し、有能な若年層が地域で活躍するベンチャー企業を創出することで「課題解決先進的地域」への変革を目指しています。



学生発表後の講評の様子



講義をする大前氏



トピックス



グループワークの様子



グループワークの発表の様子



講演する古市氏



講演する田辺氏



集合写真



交流会の様子

# アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点 第2回ワークショップを開催

令和6年3月4日(月)、室蘭工業大学教育・研究3号館(N401)において、アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点 第2回ワークショップを開催しました。

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の代表機関として、令和4年10月25日よりプロジェクトを開始した「アシルトイタ拠点」による普及事業の一環として、アイヌ文化に焦点を当てたワークショップとなりました。

今回のワークショップは、映像上映+トーク、講演、座談会の構成で対面60名、オンライン50名の参加がありました。また、ワークショップ終了後は、伝統的なアイヌ料理を試食する「ウポボイ食文化体験 イペアンロー(食事をしましょう)」を実施しました。

講演では、中川 裕 氏(千葉大学 名誉教授)が「アイヌ語・アイヌ文化の現在と未来」と題し、現代のテクノロジーがアイヌ語・アイヌ文化の未来にどのように貢献できるかなどについてお話していただきました。

### 動画上映+トーク「白糖の恵みとアイヌの世界観」

話し手：磯部恵津子氏 白糠アイヌ文化保存会 会長  
聞き手：山田 祥子 室蘭工業大学 准教授

### 講演「アイヌ語・アイヌ文化の現在と未来」

講師：中川 裕 氏 千葉大学 名誉教授

中川氏プロフィール：アイヌ語・アイヌ文化の研究を専門とする。野田サトル氏による漫画「ゴールデンカムイ」では本誌・アニメともアイヌ語監修を務めた。現在公開中の映画でもアイヌ語・文化監修を担当。

座談会「先住民文化とサイエンス — いま、北海道の科学技術がアイヌから学ぶこと」

登壇者：中川 裕 氏 千葉大学名誉教授

磯部恵津子氏 白糠アイヌ文化保存会会長  
田村 将人氏 国立アイヌ民族博物館資料情報室長

金間 大介氏 金沢大学教授/東京大学客員教授/室蘭工業大学客員教授  
奥本 素子氏 北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP・コーステップ)准教授

徳樂 清孝氏 室蘭工業大学教授/クリエイティブコラボレーションセンター長/ JST COI-NEXTプロジェクトリーダー



## 「理系国立大学について知ろう！室蘭工業大学説明会～室蘭工業大学の研究と学びについて～」説明会が山脇学園中学高等学校で開催

令和6年2月24日(土)、東京都の山脇学園中学高等学校で開催された生徒・保護者向けの大学説明会「理系国立大学について知ろう！室蘭工業大学説明会～室蘭工業大学の研究と学びについて～」において、室蘭工業大学東京事務所の樋口所長が講演を行いました。

都心の一等地に立地している中高一貫女子校の山脇学園中学高等学校は、地方国立大学への進学を「国内留学のススメ」と称して学習進路部として後押ししています。また、山脇学園中学高等学校は理工系大学と積極的に高大連携を進めていることが中学受験者に大いに人気を博しています。

室蘭工業大学は東京からは距離的にはずいぶん離れている立地の理工系単科大学ではありますが、今の時代、地理的条件は時間距離の便利さで考えればカバーできますし、本学は（医学・看護系を除き）理工系としてほぼ全ての学問分野が揃っていること、および地方で学ぶことのメリットが一通り備わっていることなどを考え合わせますと、本学はある意味では地方国立理工系大学の典型的な例として考えてもらうのが良いと思います。

山脇学園中学高等学校と本学とが好対照であることは、地方国立理工系大学進学を保護者に検討してもらえるきっかけとしてはむしろ意義深いことだったのではないかと考えられます。説明会においては、室蘭工業大学の研究や教育における強みのみならず、地方国立大学で学ぶことのメリット一般についても保護者向けに解説がありました。

樋口所長によれば、地方国立大学で学ぶことのメリットは、教育研究資源が整っており少人数教育という恵まれた環境であること、一人暮らしは自立と成長の練習ができる絶好の機会であること、多様な人々と触れ合うことにより一生モノの友人や社会的スキル・自己管理能力・非認知能力などが身につくこと、都会では社会課題が他人事のように扱われるのに対し地方は若い人たちが解決すべき社会課題の先進地であると気づけること、地方国立理工系大学生は就職においても大変好評好調であること、などでした。

約100名もの参加者にお集まりいただきましたことは学園側の周到なご準備の賜物と心より感謝しています。

## 内閣府事業「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」 第3期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に採択

内閣府事業「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」（研究推進法人：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST））に、BOLDLY株式会社などと共同で申請した「社会受容性・法制度・ステークホルダー調整を軸にしたスマートモビリティプラットフォームの社会実装及びスマートモビリティプラットフォームを支える人材発掘・育成プログラムの開発」が採択されました。

研究開発期間（予定）：2023～2027年度の5年間

本学は、上記研究開発課題の内、サブ課題Ⅱ⑦-2「既存市街地の街路網構成計画論の構築」、⑨「サービスの社会実装に向けた人材育成」を担当します。具体的には、以下のとおり計画しています。

・プロトモデルの構築

上土幌町もしくは苫小牧市を対象として自動運転車両の導入を前提としたみち空間の構成方法を検討する。そのためにマイクロ交通シミュレーションを用いて実際のみち空間を詳細に再現し、過去に実施した自動運転車両の走行データに基づいた車両走行シミュレーションを行う。2023年度は上記マイクロ交通シミュレーションのプロトモデルを構築する。

・マイクロ交通シミュレーションの拡充等

2023年度に構築したマイクロ交通シミュレーションを拡充する。対象エリアとしては上土幌町・苫小牧市に千歳市を加える。

大規模人流データ（GEOTRAアクティビティデータ使用予定）を活用し、主に徒歩や自転車等が利用される

空間範囲を抽出する。そのうえで抽出された空間の街区のウォークアビリティを評価し、街路ネットワークの再構成範囲や低速移動コミュニティの形成範囲、モビリティハブの設置箇所等を評価する手法を開発する。

各種関係機関と連携し、積雪寒冷地におけるカメラ画像と物体検知アルゴリズム、LiDAR等による歩行者検知データの精度や自動運転車両周辺の歩行者の行動を踏まえた道路車間協調のあり方について検討する。

・仕組みの成立性等のまとめ

バスのレベル4自動運転に関し、ODD環境の維持が難しい地点や時間帯を特定し、路上側のセンサーにより検出されたODD環境の健全性の程度を路車間通信により、遠隔監視センターに伝達し、適宜安全な運行停止につなげる仕組みの成立性と効果の試算をまとめる。

・ガイドラインの策定

事故低減効果の確認を行うとともに、生活ゾーン・賑わいの住民のコミュニティ参加自体を推進し、賑わい拠点の維持管理を容易にする仕組みを作り、地域MS社会実装ガイドラインとして取りまとめる。

【室蘭工業大学の担当教員】

研究開発責任者：有村幹治教授/MONOづくりみらい共創機構スマートシティ推進支援タスクフォース長

【研究体制：全体】

研究開発統括責任者：BOLDLY株式会社

研究開発責任者（開発拠点）：多摩大学、同志社大学、室蘭工業大学、明治大学先端科学ELSI研究所、住友商事株式会社、株式会社住商アビーム自動車総合研究所

## 公益財団法人岩谷直治記念財団設立50周年記念 岩谷科学技術特別研究助成にチャン教授が採択

公益財団法人岩谷直治記念財団設立50周年記念岩谷科学技術特別研究助成にチャン ヨン Chol 教授（研究代表者）、島津 昌光助教（共同研究者）及び関 千草助教（共同研究者）の「芳香族・脂肪族塩素化合物の電気

および生物分解によるSDGs実現型PHA生産基質の新規創生とその利用可能性の網羅的な検証」が採択されました。令和6年3月7日に同財団による贈呈式が行われ、チャン教授が参加しました。



## 電子情報通信学会 EST研究会優秀論文発表賞を 本学学生が受賞

室蘭工業大学大学院工学研究科博士後期課程工学専攻先端情報電子工学コースの谷口美緒さんが、電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション (EST) 研究会優秀論文発表賞 (一般部門) を受賞しました。

本賞は、電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション研究会において1年間に発表された全ての発表の中から、特に優秀な発表として選出されたものです。

受賞者および受賞研究題目は、以下のとおりです。

谷口 美緒 (波動エレクトロニクス研究室D2)

「一方向伝搬磁性メタサーフェスの自動最適設計に関する研究」電子情報通信学会エレクトロニクスシミュレーション (EST) 研究会優秀論文発表賞 (一般部門) 2024年3月6日 (共同研究者: 井口 亜希人、辻 寧英)

現在、様々な機能を持つメタサーフェスの研究報告がなされています。中でも、磁性材料を含むメタサーフェスは非相反な伝送特性を得ることができ、一方向にのみ電磁波を透過するアイソレータ機能を実現できます。本研究では、磁性材料としてInSbを用いた1次元および

2次元周期構造メタサーフェスを考え、面内方向に外部磁場を印加したTHz帯アイソレータの設計を行っています。メタサーフェスの特性解析には境界適合性に優れた3次元フルベクトル有限要素法 (3D-FV-FEM) を採用し、周期境界条件を課して一周期分を解析設計の対象としました。最適化手法に共分散行列適応進化戦略 (CMA-ES) を用い、寸法最適化およびトポロジー最適化により、優れた特性を有するアイソレータを設計しています。

### 【受賞者コメント】

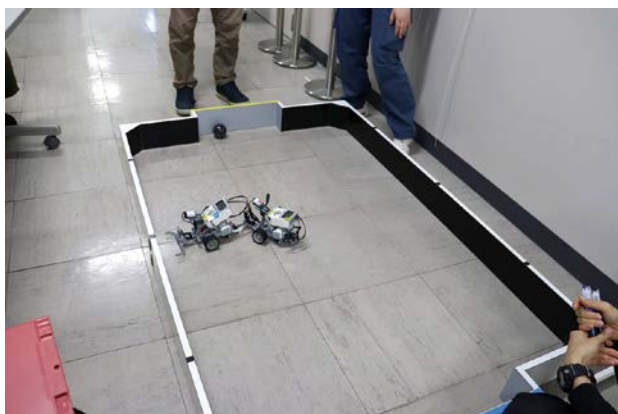
大変名誉ある賞をいただき光栄です。本受賞は、指導教員の辻教授の熱心で親身な指導のお力によるところだと感じています。研究と家事・育児を両立したい私に寄り添い、一緒に歩んでくださるおかげです。この場をお借りして辻教授に深く御礼申し上げます。いつも本当にありがとうございます。今後もメタサーフェスや最適設計への知見を深め、研究を続けていきます。



## ロボットアリーナ2月体験教室 「LEGO®ブロックでサッカーをしよう！」を開催

令和6年2月23日に本学ロボットアリーナにおいて今年度最後の体験教室を開催しました。ロボットアリーナ体験教室は地域の小学生を対象に、工作やプログラミングを通して、ロボットの機構や仕組みについて学び、工学への興味に繋げてもらうことを目的として開催しており、今年度は21回実施しています。今回の体験教室は

LEGO®EV3というブロック型のロボット教材を使って、サッカーロボットの機体組立て、ボールを追いかけてシュートするプログラムの作成を行いました。最後にサッカー対戦をして、ロボットのできばえを競いました。学生指導員が中心となり毎回楽しい企画を行っています。



## 名古屋大学 液液デトネーションエンジン 宇宙実証用 フライトモデルの最終燃焼試験を白老実験場で実施

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センターでは、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学笠原研究室および静岡大学川崎研究室と2024年2月19日～3月1日に本学白老エンジン実験場において、亜酸化窒素（ $N_2O$ ）およびエタノールをそれぞれ酸化剤・燃料とする液体デトネーションエンジンのフライトモデルでの燃焼試験を実施しました。10日間の実験期間中には、室蘭工業大学、名古屋大学および静岡大学から19名程度の教職員、学生が参画し、協働で試験運用に挑みました。

当該エンジンは2024年度中に鹿児島県内之浦宇宙空間観測所よりJAXA/ISAS観測ロケットS520-34号機で宇宙空間に打ち上げられ、世界初の液体燃料・液体酸化剤によるデトネーションエンジンの動作実証を目指すものです。

2022年7月のシリーズでは主として着火タイミングの確立、2022年12月のシリーズでは主として長秒時燃焼におけるC/C複合材内壁の耐熱性確認、2023年5月のシリーズでは3種類の燃料噴射器を用いたデトネーション

発生の有無への影響を確認する試験、2023年11月のシリーズでは噴射面の厚みを変えてデトネーション遷移状態への影響を確認する試験を行っており、これらの成果に立脚して製作された、実際に宇宙実証を行うフライトモデル本体の最終地上燃焼試験を本学白老実験場にて実施しました。予定されるシーケンスにて2度の燃焼試験を行い、高い再現性でデトネーションの発生を確認しました。また、アピオニクス機器、オンボードカメラなどの動作健全性も確認しました。夜間の白老は最低-13℃と過酷な環境となる中、アピオニクス機器の結露・氷結を避けるためのヒーター加温や断熱材による養生などを入念に行いました。本研究は国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構戦略経費「デトネーションキックモータ観測ロケット軌道投入実証」および科学研究費補助金特別推進研究「自立圧縮型デトネーション推進器の物理解明:高次結合化観測ロケット宇宙飛行実証展開」の経費により実施されたものです。



デトネーションエンジン地上燃焼試験



計測室の様子



保安集合写真



## 令和5年度学位記授与式を挙行

令和6年3月22日(金)に学位記授与式を挙行了しました。

### ○各学位授与者数

- ・理工学部第2回学位記授与者 570名
- ・工学部第72回学位記授与者 17名
- ・大学院博士前期課程第58回学位記授与者 234名
- ・大学院博士後期課程第32回学位記授与者 3名



## 教員の業績評価システム（ESTA2023）における 優秀教員表彰式を開催

2月28日(水)本部棟小会議室において、教員の業績評価システム（Examination System for Teachers' Activities 2023、ESTA2023）における優秀教員表彰式を実施しました。

この表彰制度は、これまで実施してきた教員の多面的評価システム（Appraisal System for Teachers' Activities）における「教育」、「研究」、「社会・国際貢献」、「部局・大学運営」の業績について3年分の累積点数を評価するもので、優れた業績の教員を見出すことを目的として平成27年度から開始したものです。10名の優秀教員が受賞し、表彰式には7名が出席しました。

表彰式では、佐藤理事（評価・財務担当）の列席のもと、空閑学長から一人ひとりに表彰状が贈呈され、受賞を祝う言葉が述べられるとともに、今後の更なる活躍を期待する励ましの言葉がありました。

令和5年度教員の業績評価システム（ESTA2023）における優秀教員

もの創造系領域	教授	有村	幹治
もの創造系領域	教授	内海	政春
もの創造系領域	教授	川村	志麻
もの創造系領域	教授	木幡	行宏
もの創造系領域	教授	清水	一道
もの創造系領域	教授	中津川	誠
もの創造系領域	教授	濱	幸雄
しくみ解明系領域	教授	太田	香
しくみ解明系領域	教授	辻	寧英
しくみ解明系領域	教授	董	晃雄

（領域・職位・五十音順）



表彰式後の記念撮影

## 外部資金

## 民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額 (千円)
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,040
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	1,500
合 計 (2 件)		2,540

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

## 奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額 (千円)
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	工学研究助成	2,000
東日本高速道路株式会社	工学研究助成	2,850
株式会社クレスコ・ネクシオ	工学研究助成	500
株式会社クリーンアップ	工学研究助成	200
電制コムテック株式会社	工学教育助成	50
団体寄附者（1件） ※室蘭工業大学古本募金	図書館資料・設備の 充実のため	3
合 計（6件）		5,603

## 人 事

## 人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和6年3月31日	〈定年退職〉	河 合 秀 樹	大学院工学研究科教授 (もの創造系領域)
		木 村 克 俊	大学院工学研究科教授 (もの創造系領域)
		溝 口 光 男	大学院工学研究科教授 (もの創造系領域)
		齋 藤 英 之	大学院工学研究科教授 (しくみ解明系領域)
		クラウゼ小野 マルギット	大学院工学研究科教授 (ひと文化系領域)
		安 居 光 國	大学院工学研究科准教授 (しくみ解明系領域)
令和6年3月31日	〈任期満了〉	空 閑 良 壽	国立大学法人室蘭工業大学長
		船 水 尚 行	理事(研究・連携)
		坂 本 祐 二	大学院工学研究科特任教授 (もの創造系領域)
令和6年3月31日	〈辞 職〉	桃 野 直 樹	大学院工学研究科教授 (しくみ解明系領域)
		孔 德 卿	大学院工学研究科助教 (もの創造系領域)
		内 山 智 幸	大学院工学研究科特任教授 (しくみ解明系領域)
		小 川 祐紀雄	大学院工学研究科准教授 (ひと文化系領域)

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
		加 藤 正 和	大学院工学研究科講師 (ひと文化系領域)
		矢 野 大 作	技術部技術専門職員
	<b>〈辞 職〉(転 出)</b>		
令和6年3月30日	島根大学理事・事務局長	大 川 鉄 也	副学長・事務局長
令和6年3月31日	北海道大学施設部施設整備課長	押 田 聡	施設課長
	北海道大学工学系事務部教務課特命職 (兼 工学系事務部教務課係長 (学生支援担当))	相 内 征 也	入試戦略課長
	島根大学企画部図書情報課長	堀 越 邦 恵	総務広報課図書学術情報室長
	<b>〈任 命〉</b>		
令和6年4月1日	国立大学法人室蘭工業大学長 (任期R12.3.31)	松 田 瑞 史	
	理事 (総務・財務担当) (任期R8.3.31)	佐 藤 孝 紀	
	理事 (学術・情報担当) (任期R8.3.31)	桃 野 直 樹	
	理事 (研究・連携担当) (任期R8.3.31)	増 田 隆 夫	北海道大学理事・副学長
	<b>〈採 用〉(転 入)</b>		
令和6年4月1日	大学院工学研究科准教授 (もの創造系領域)	角 哲	北海道大学大学院工学研究院 准教授 (クロスアポイントメント制度 適用)
	大学院工学研究科准教授 (しくみ解明系領域)	橋 理 恵	大島商船高等専門学校 情報工学科教授
	大学院工学研究科助教 (しくみ解明系領域)	BURAPORN PONG SIREE	室蘭工業大学大学院工学研究科 博士研究員
	大学院工学研究科特任教授	空 閑 良 壽	国立大学法人室蘭工業大学長
	大学院工学研究科特任教授 (もの創造系領域)	河 合 秀 樹	室蘭工業大学大学院工学研究科 教授 (もの創造系領域)
	大学院工学研究科特任准教授 (MONOづくりみらい共創機構)	石 橋 弘 之	早稲田大学人間科学学術院 人間科学部助教
	副学長・事務局長	吉 田 勇 人	大学改革支援・学位授与機構 評価事業部長
	施設課長	菅 野 直 樹	北海道教育大学財務部施設課 副課長

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職	
	入試戦略課長	神 川 理	旭川医科大学入試課長	
	総務広報課図書学術情報室長	千 葉 浩 之	北海道大学附属図書館管理課 係長（図書受入・目録担当）	
	事務局付係員	石 川 大 貴		
	事務局付係員	小 野 弥 南		
	<b>〈派遣復帰〉</b>			
令和6年4月1日	学務課係長（大学院係）	南 圭 奈	北海道大学総務企画部人事課 係長（採用試験事務室担当）	
	<b>〈昇 任〉</b>			
令和6年4月1日	大学院工学研究科教授（もの創造系領域）	高 瀬 裕 也	大学院工学研究科准教授 （もの創造系領域）	
	大学院工学研究科教授（もの創造系領域）	湯 浅 友 典	大学院工学研究科准教授 （もの創造系領域）	
	大学院工学研究科教授（しくみ解明系領域）	藤 本 敏 行	大学院工学研究科准教授 （しくみ解明系領域）	
	経営企画課係長（評価分析係）	白川部 直 人	総務広報課主任（総務広報係）	
	経理課係長（経理係（決算担当））	笹 裕 幸	経理課主任（経理係）	
	経理課主任（調達係）	練生川 潤 一	経理課係員（調達係）	
	経理課主任（調達係）	村 上 佳 鈴	経理課係員（調達係）	
	技術部技術専門員	小 西 敏 幸	技術部技術専門職員	
		<b>〈配置換〉</b>		
	令和6年4月1日	研究推進課長 兼務免：入試戦略課国際交流室長	伊 藤 光 春	研究協力課長 （兼入試戦略課国際交流室長）
研究推進課副課長		伊 藤 陽 平	研究協力課副課長	
経営企画課係長（経営企画係）		田 嶋 学	経営企画課係長（評価分析係）	
経営企画課係長（財務戦略係）		神 田 洋 樹	学務課係長（大学院係）	
経営企画課係長（評価分析係）		白川部 直 人	総務広報課主任（総務広報係）	
総務広報課係長（総務係）		早 坂 珠 美	学務課係長（学部教務係）	
総務広報課係長（秘書広報係）		宮 下 慎 也	総務広報課係長（秘書係） （兼総務広報課係長（総務広報係））	

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職	
令和6年4月1日	経理課係長（経理係（出納担当））	境 謙	経理課係長（経理係）	
	学務課係長（学部教務係）	芦 原 貴 央	入試戦略課係長（入試企画係）	
	入試戦略課係長（入試企画係）	井 内 大 介	経営企画課係長（経営企画係）	
	研究推進係長（研究戦略係）	堀 切 香 菜	研究協力課係長（研究戦略係）	
	研究推進課係長（研究支援係）	加 納 二 郎	研究協力課係長（研究支援係）	
	研究推進課係長（社会連携係）	木 村 友 也	総務広報課係長（社会連携係）	
	総務広報課主任（秘書広報係）	遠 藤 仁 郎	総務広報課主任（秘書係）	
	研究推進課主任（社会連携係）	千 葉 ななえ	経営企画課主任（経営企画係）	
	経営企画課係員（経営企画係）	玉 根 宏 大	経営企画課係員（評価分析係）	
	経営企画課係員（財務戦略係）	伊 藤 祐 太	経営企画課係員（経営企画係）	
	総務広報課係員（総務係）	芥 川 広 樹	総務広報課係員（総務広報係）	
	研究推進課係員（研究戦略係）	池 田 麻 衣	研究協力課係員（研究戦略係）	
	研究推進課係員（研究支援係）	福 澤 颯 希	研究協力課係員（研究支援係）	
	研究推進課係員（研究支援係）	吉 田 竣 稀	研究協力課係員（研究支援係）	
	技術部特命職	浅 野 克 彦	技術部技術専門員	
		<b>&lt;任用更新&gt;</b>		
			相 津 佳 永	大学院工学研究科特任教授 （もの創造系領域） 兼務：キャリア・サポート・センター
		岸 徳 光	大学院工学研究科特任教授 （もの創造系領域） 兼務：寄附講座・社会基盤管理 工学講座	
		樋 口 健	大学院工学研究科特任教授 （東京事務所）	
		板 倉 賢 一	大学院工学研究科特任教授 （しくみ解明系領域） 兼務：寄附講座・未利用資源 エネルギー工学講座	
		岸 上 順 一	大学院工学研究科特任教授 （しくみ解明系領域） 兼務：クリエイティブコラボ レーションセンター	



発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和6年4月1日	〈命〉		
	経営協議会委員（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31） 副学長（任期：R8.3.31） 技術部長（任期：R8.3.31）	佐藤孝紀	
	経営協議会委員（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31） 副学長（任期：R8.3.31） 附属図書館長（任期：R8.3.31） 大学院工学研究科博士後期課程工学専攻長 （任期：R8.3.31） 理工学人材育成本部長（任期：R8.3.31） 理工学基礎教育センター長（任期：R8.3.31）	桃野直樹	
	経営協議会委員（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31） 副学長（任期：R8.3.31） 国際交流センター長（任期：R8.3.31） MONOづくりみらい共創機構副機構長 （任期：R8.3.31）	増田隆夫	
	副学長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）	川村志麻	
	副学長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31） 教育推進支援センター長（任期：R8.3.31）	花島直彦	
	副学長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）	董 冕 雄	
	副学長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31） MONOづくりみらい共創機構副機構長 （任期：R8.3.31）	市村恒士	
	副学長（任期：R8.3.31） 経営協議会委員（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）	吉田 勇 人	
	学長補佐（任期：R7.3.31）	吉田 雅 典	
	学長補佐（任期：R7.3.31） 理工学部創造工学科長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）	廣田光智	
	学長補佐（任期：R7.3.31） 大学院工学研究科博士前期課程情報電子工学系 専攻長（任期：R8.3.31） 教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）	塩谷浩之	
	学長補佐（任期：R7.3.31） ものづくり基盤センター長（任期：R8.3.31）	清水 一 道	

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
	学長補佐（任期：R7.3.31）	清 末 愛 砂	
	学長補佐（任期：R7.3.31）	吉 成 哲	
	MONOづくりみらい共創機構副機構長 （任期：R8.3.31）		
	保健管理センター所長（任期：R8.3.31）	岩 田 実	
	キャリア・サポート・センター長 （任期：R8.3.31）	相 津 佳 永	
	航空宇宙機システム研究センター長 （任期：R8.3.31）	内 海 政 春	
	希土類材料研究センター長（任期：R8.3.31）	関 根 ちひろ	
	情報教育センター長（任期：R8.3.31）	桑 田 喜 隆	
	研究基盤設備共用センター長（任期：R8.3.31）	中 野 英 之	
	地域連携人材育成センター長（任期：R8.3.31）	河 合 秀 樹	
	クリエイティブコラボレーションセンター長 （任期：R8.3.31）	徳 樂 清 孝	
	コンピュータ科学センター長（任期：R8.3.31）	太 田 香	
	もの創造系領域長（任期：R8.3.31）	風 間 俊 治	
	経営協議会委員（任期：R8.3.31）		
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	しくみ解明系領域長（任期：R8.3.31）	亀 川 厚 則	
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	ひと文化系領域長（任期：R8.3.31）	塩 谷 亨	
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	理工学部システム理化学科長（任期：R8.3.31）	飯 森 俊 文	
	経営協議会委員（任期：R8.3.31）		
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	大学院工学研究科博士前期課程環境創生工学系 専攻長（任期：R8.3.31）	真境名 達 哉	
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	大学院工学研究科博士前期課程生産システム 工学系専攻長（任期：R8.3.31）	戎 修 二	
	経営協議会委員（任期：R8.3.31）		
	教育研究評議会評議員（任期：R8.3.31）		
	<b>〈 兼 務 〉</b>		
令和6年4月1日	技術部第三技術室長	山 森 英 明	技術部技術専門員
	技術部第二副技術室長	小 西 敏 幸	技術部技術専門員

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
	技術部第三副技術室長	宮 本 政 明	技術部技術専門職員
	<b>&lt;兼務免&gt;</b>		
令和6年4月1日	技術部第三技術室長	浅 野 克 彦	技術部技術専門員
	技術部第二副技術室長	島 田 正 夫	技術部技術専門職員
	技術部第三副技術室長	山 森 英 明	技術部技術専門員
	<b>&lt;雇用期間満了&gt;</b>		
令和6年3月31日		ZHAO LIJUAN	大学院工学研究科 博士研究員
		TRAN VINH HA	大学院工学研究科 博士研究員
		BASHIR TAHIR	大学院工学研究科 博士研究員
		BURAPORN PONG SIREE	大学院工学研究科 博士研究員
		YILAGA QI	大学院工学研究科 学術研究員
		上 野 香 織	大学院工学研究科 学術研究員
		宮 入 奈緒枝	大学院工学研究科 技術補佐員
		藤 井 まゆみ	大学院工学研究科 技術補佐員
		工 藤 ゆ き	大学院工学研究科 事務補佐員
		BAAR STEFAN	クリエイティブコラボレーションセンター 博士研究員
		明 石 陸 冬	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		板 倉 詩 桜	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		坂 本 光	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		佐々木 奏 羽	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		道 林 志 織	学務課 事務補佐員
	<b>&lt;採 用&gt;</b>		
令和6年4月1日	大学院工学研究科 博士研究員	KHAIRUNNISA BINTI MOHD PAAD	

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職	
令和6年4月1日	大学院工学研究科 博士研究員	TRAN VINH HA		
	大学院工学研究科 学術研究員	上 野 香 織		
	大学院工学研究科 技術補佐員(研究支援推進員)	宮 入 奈緒枝		
	大学院工学研究科 事務補佐員	野 村 未 希		
	クリエイティブコラボレーションセンター 博士研究員	BAAR STEFAN		
	総務広報課 事務補佐員	磯 邊 早 苗		
	総務広報課(男女共同参画推進室) 事務補佐員	本 間 美希子		
	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員	小 沼 佳太郎		
	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員	篠 原 颯 太		
	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員	多 屋 早 織		
	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員	本 間 愛 理		
	学務課 事務補佐員	道 林 志 織		
		<b>〈雇用更新〉</b>		
			宇 井 か な	大学院工学研究科 技術補佐員
			遠 藤 雅 子	大学院工学研究科 技術補佐員
			佐々木 恵梨菜	大学院工学研究科 技術補佐員
			伊 藤 ひとみ	大学院工学研究科 事務補佐員
			大 谷 景 子	大学院工学研究科 事務補佐員
			菊 地 しずか	大学院工学研究科 事務補佐員
			柴 田 亜砂美	大学院工学研究科 事務補佐員
			竹 岡 紀 子	大学院工学研究科 事務補佐員
			橋 詰 奈緒子	大学院工学研究科 事務補佐員 (再雇用)
			十 二 法 歌	保健管理センター カウンセラー
			杉 浦 郁 子	保健管理センター カウンセラー
			村 形 明日希	保健管理センター カウンセラー
			進 藤 香 美	保健管理センター 事務補佐員
		小 川 泰 聖	ものづくり基盤センター 技術補佐員	

## 人 事

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
		熊 倉 勇 朔	ものづくり基盤センター 技術補佐員
		清 水 琉 生	ものづくり基盤センター 技術補佐員
		横 井 天 駿	ものづくり基盤センター 技術補佐員
		吉 田 光 希	ものづくり基盤センター 技術補佐員
		曾野部 梨 紗	地域連携人材育成センター 事務補佐員
		佐 孝 まゆり	クリエイティブコラボレーション センター 事務補佐員
		赤 萩 恵 梨	MONOづくりみらい共創機構 特定専門職員
		三田村 はるか	MONOづくりみらい共創機構 特定専門職員
		木 下 海 美	総務広報課 事務補佐員
		中 村 恵 子	総務広報課 事務補佐員
		藤 平 昌 代	総務広報課 事務補佐員
		山 形 香 里	総務広報課 事務補佐員
		上 西 美 椰	総務広報課(男女共同参画推進室) 事務補佐員
		上 原 悠 生	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		小 山 美 玖	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		阪 本 薫	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		細 川 懐 生	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		本 庄 美智江	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		松 岡 佑 真	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		山 崎 朗	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員
		吉 田 光 希	総務広報課図書学術情報室 事務補佐員

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和6年4月1日	<p style="text-align: center;"><b>〈配置換〉</b></p> 研究推進課 事務補佐員（支援職員）	小 丸 憲 之	経理課 技術補佐員
		里 見 友 美	経理課 事務補佐員
		七 條 彩 水	経理課 事務補佐員
		福 原 由 莉	施設課 事務補佐員
		永 田 鈴 奈	入試戦略課 事務補佐員
		本 郷 祐 子	入試戦略課国際交流室 事務補佐員
		工 藤 千 尋	監査室 事務補佐員
		坂 本 和	研究協力課 事務補佐員 (支援職員)

## 学内会議

### 学内各種委員会等の開催

< 2月25日～3月24日 >

**開催日時** 令和6年2月27日(火)  
**会議名** 経営協議会(臨時)

**開催日時** 令和6年2月27日(火)  
**会議名** 第6回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年2月29日(木)  
**会議名** 第11回教育研究評議会

**開催日時** 令和6年2月29日(木)  
**会議名** 第34回役員会

**開催日時** 令和6年3月4日(月)  
**会議名** 第35回役員会

**開催日時** 令和6年3月5日(火)  
**会議名** 第5回教授会

**開催日時** 令和6年3月8日(火)  
**会議名** 第9回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

**開催日時** 令和6年3月12日(火)  
**会議名** 第36回役員会

**開催日時** 令和6年3月12日(火)  
**会議名** 第6回教授会

**開催日時** 令和6年3月13日(水)  
**会議名** 第7回経営協議会

**開催日時** 令和6年3月13日(水)  
**会議名** 第37回役員会

**開催日時** 令和6年3月14日(木)  
**会議名** 第12回教育研究評議会

**開催日時** 令和6年3月14日(木)  
**会議名** 第38回役員会

**開催日時** 令和6年3月19日(火)  
**会議名** 第7回企画戦略会議

**開催日時** 令和6年3月21日(木)  
**会議名** 第10回学長特命連絡会

## 学内行事

- 2月25日(日) 一般入試(前期日程)(室蘭、札幌、仙台、東京、名古屋)
- 2月27日(火) 2024年度4月入学大学院博士前期課程入試(一般・外国人留学生(国内)第2次募集)
- 2月27日(火) 2024年度4月入学大学院博士後期課程入試(一般第2次募集)
- 2月28日(水) START UP 2024 in 室蘭工業大学「室蘭から世界へ!」学内ベンチャー育成塾プレイベント
- 3月6日(水) 合格発表【令和6年度4月入学 理工学部一般選抜前期日程】
- 3月11日(月) 合格発表【2024年度4月入学 大学院博士後期課程(第2次募集)】
- 3月14日(木) 日本政策金融公庫と連携協力に関する協定及び大規模災害時における業務連携に関する覚書を締結
- 3月19日(火) 伊達信用金庫との連携協定を締結
- 3月21日(木) 合格発表【令和6年度4月入学 理工学部一般選抜後期日程】
- 3月22日(金) 令和5年度学位記授与式

## 学外行事

- 3月6日(水) 北海道半導体人材育成推進等協議会(札幌市)
- 3月6日(水) 「日本海水学会若手会第15回学生研究発表会」(伊達市)



## 編集後記

◆ 「確かな研究力をベースした教育力」をキーワードに強力なリーダーシップ発揮し、大学運営に尽力していただいた空閑学長が3月31日をもって退任いたしました。2019年の理工学部改組をはじめ数多くの大学改革を実行し、北海道の地、室蘭にある国立工業大学である室蘭工業大学を確かな位置に導いていただきました。4月1日に就任した松田学長をはじめ、我々、教職員は空閑学長の功績を受け継ぎ、今後も大学の発展のために尽力していく所存です。また、大学を改革していく上で、「室工大では、今、何が行われ、どの方向に向かうのか？」を広報誌等の広報で積極的に発信していくことは、マストであり、義務であると思っております。

私たち広報室のメンバーは、さらに室工大の今を伝えるための工夫、努力を続けていきたいと思っておりますので、室工大広報に感じることなどがあれば、忌憚ないご意見をいただけますと幸いです。



(Garoon : 総務広報課秘書広報係、E-mail : koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課秘書広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308